

2004年度の活動を振り返って

2004年度のサントリーグループ重点環境課題の主要実績ならびに自己評価を以下に記載しました。2004年度は、エネルギー・用水・CO₂の各主要原単位削減目標を達成することができましたが、清涼飲料の販売数量増加に伴う生産量増、ウイスキー原酒の蒸留量増などにより、それぞれ総量では増加という結果になりました。2005年度以降は、CO₂の排出総量削減に向けて、各生産工場で計画的な設備投資を実施し、事業者に求められる削減目標の達成を目指して、燃料転換等の施策を強力に推進してまいります。なお、本レポートの環境負荷削減活動データは、事実に基づき正確な内容をもれなく記載しております。



環境担当取締役
小嶋 幸次

重点推進課題	2004年度目標	2004年度実績	掲載ページ	評価
1.環境マネジメントシステム構築	・サントリーグループ全体での環境マネジメントシステム推進強化	・新たに国内グループ会社2社でISO14001認証を取得 ・ISO14001認証未取得部門/グループ会社における簡易環境マネジメントシステム(EMS)監査実施	p.17 ~ p.18	●●
2.エコプロダクツ開発	・継続的なエコプロダクツ開発(容器軽量化の推進)	・ペットボトル軽量化促進 500ml、900ml、2Lペットボトルを中心に軽量化を推進し、軽量化比率は全本数の61%となりました ・ペットボトル自社成型を拡大し、輸送時の環境負荷低減を促進	p.40	●●●●
3.省資源・省エネルギー、地球温暖化防止	・各工場においてエネルギー原単位前年度比1%以上削減 ・各工場においてCO ₂ 排出原単位前年度比1%以上削減	・原単位前年度比 燃料 4%削減 (90年度対比55%削減) 電力 5%削減 (90年度対比44%削減) 用水 4%削減 (90年度対比45%削減) ・CO ₂ 排出原単位前年度比 5%削減 (90年度対比53%削減)	p.46 p.63 ~ p.64	●●●●
4.グリーン購入	・国内主要グループ会社での実施 ・海外事業所での実施計画策定	・事務用品におけるグリーン商品購入金額比率87% ・事務用品におけるグリーン商品登録比率84% ・インターネットグリーン購入実施主要グループ会社拡大社数5社(計24社) ・海外事業所の実態調査実施	p.43 ~ p.44	●●
5.廃棄物の減量化・再資源化	・工場副産物・廃棄物の再資源化率100%の維持 ・本社・東京支社の廃棄物再資源化率2%改善	・再資源化率は数字上では100.0%となりましたが、1工場で0.001%(排出量約159千トンのうち、1.8トン)が再資源化できず焼却処分となりました ・本社・東京支社での再資源化率93% 95%	p.47 ~ p.48 p.55	●●
6.容器リサイクル	・効率的・実効的な容器リサイクルシステムの構築推進	・使用済みペットボトルからペットボトルを再生する「ボトルtoボトル」技術による容器導入を開始	p.56 ~ p.59	●●●●
7.環境コミュニケーション	・社会・環境活動情報の積極的開示	・「エコシップレポート2004」「サステナビリティレポート2004」を発行(財)地球・人間環境フォーラム主催の「第8回環境コミュニケーション大賞」にて「環境報告部門」「持続可能性報告部門」の2部門で優秀賞を受賞、東洋経済新報社主催の「第8回環境報告書賞」で優良賞を受賞 ・「天然水の森」をテーマとした環境広告を新聞紙上にて実施 ・「エコプロダクツ2004」に出展、子どもたちの理解促進を目指したブース作りを行い、1万人以上の方に熱心にご見学いただきました ・多彩なステークホルダーダイアログを実施	p.25 ~ p.26	●●●●
8.社会的な活動	・従来活動の継続 ・水源保全活動の拡大実施 ・次世代教育の推進強化	・南阿蘇に加え、新たに山梨県「白州」、群馬県「子持山」で水源かん養活動サントリー「天然水の森」に着手 ・南阿蘇の「天然水の森」において次世代教育活動「森と水の学校」を開校(参加者数約1,600名)	p.33 p.61 ~ p.62	●●●●

目標・実績はグループ全体。ただし、はサントリー単体の目標・実績 原単位とは製造1klあたりの購入量・使用量・排出量を表す
●●●● ...目標を達成することができました。 ●●● ...目標達成が70%以上です。 ●● ...目標達成が70%未満です。



サントリーの環境活動は「ecoship」

サントリーでは環境に対する取り組みを「エコシップ」と名付けて活動しています。

エコ+シップ。「エコの気持ち」ですべての活動を行っていき
たい。緑の地球に「e・c・o」で目と鼻を描いたマークとともに、
すべての活動に「エコシップ」を貫いていきます。



目標を達成することができました。

目標達成が70%以上です。

目標達成が70%未満です。

重点推進課題	2005年度目標	中期目標(2008年度) 2003年12月改定
1.環境マネジメントシステム構築	<ul style="list-style-type: none"> 本社・お台場新オフィスでのISO14001認証取得に向けての活動開始 グループ会社における環境e-ラーニング展開 	<ul style="list-style-type: none"> 海外事業所を含むサントリーグループ全体での環境マネジメントシステム稼働・環境経営度向上
2.エコプロダクツ開発	<ul style="list-style-type: none"> エコプロダクツの継続的な開発(容器軽量化・リサイクル容易化の推進) 	<ul style="list-style-type: none"> 容器対応を中心としたエコプロダクツ開発を継続的に推進
3.省資源・省エネルギー、地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> ユーティリティ原単位各工場前年度比1%以上削減 用水原単位のさらなる削減への研究 CO₂排出原単位各工場前年度比1%以上削減(燃料転換による改善を除く削減目標) 燃料転換によるCO₂削減推進 	<p>エネルギー原単位</p> <p>燃料 燃料2003年度比5.6%削減(1990年度比では56%削減) 原単位(l / kl)</p> <p>電力 電力2003年度比8.1%削減(1990年度比では46%削減) 原単位(kWh / kl)</p> <p>用水 用水2003年度比5.5%削減(1990年度比では46%削減) 原単位(m³ / kl)</p> <p>CO₂排出原単位 2003年度比11.9%削減(1990年度比では57%削減) 原単位(kg / kl)</p>
4.グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> 国内主要グループ会社・海外事業所での実施 	<ul style="list-style-type: none"> 海外を含むグループ全事業所で実施
5.廃棄物の減量化・再資源化	<ul style="list-style-type: none"> 工場廃棄物・副産物再資源化率100%の維持 本社・お台場新オフィスの廃棄物再資源化率2%改善 食品廃棄物再生利用等実施率20%以上(2005年10月段階での単月達成) 	<ul style="list-style-type: none"> 工場廃棄物・副産物再資源化率100%の維持 本社・お台場新オフィスの廃棄物再資源化率100%の達成・維持 食品廃棄物再生利用実施率20%以上の達成・さらなる推進
6.容器リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 効率的・実効的容器リサイクルシステムの構築推進 	<ul style="list-style-type: none"> 効率的・実効的な容器リサイクルシステムの構築推進
7.環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 社会・環境活動情報の積極的開示 	<ul style="list-style-type: none"> 社会・環境活動情報の積極的開示
8.社会的な活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した水源保全活動の拡大 次世代教育の推進強化(「森と水の学校」エコキッズノート」の活用) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携し、地球環境保全の活動を多面的に展開

2004年度より、燃料・CO₂の2008年度中期目標および過年度実績の原単位算出方法を以下のとおりに変更しています。
燃料:A重油換算から原油換算に変更 CO₂:燃料・発酵・工程・排水由来から、燃料・電力由来に変更